令和 3 年度　予算施策評価表

様式1

施策名	文化交流の推進と地域資源の活用			予算施策コード	sb08
担当部局名	観光スポーツ文化部 文化局　まなび推進課	評価責任者	課長　松井　慶介	連絡先	5491

1 施策の内容

施策の目標	県内外との多様な文化交流の促進による交流人口の拡大や地域の多様化を促進するとともに、文化を含む地域資源を活用した新たな価値を創造する。
これまでの取組み	四国遍路は、「お接待」に代表される四国が誇るべき文化であり、四国4県と、関係市町村、大学、霊場会、経済団体等が一体となって世界遺産登録に向けた取組みや気運の醸成を図っているところ。県内でも四国遍路を構成する札所や遍路道が国の史跡として着実に指定され、また、民間団体によるお接待や遍路道の保全活動が各地で行われている。 さらに、27年4月に、四国遍路が、我が国の文化・伝統を語る歴史的魅力あふれるストーリーであるとして、初めて「日本遺産」として認定されており、世界遺産登録に向けた気運醸成や地域活性化につながるものと期待している。

成果指標名（目標の達成度合いを示す指標）

A	世界遺産登録					B					
選択理由	世界遺産登録を目指した取組みであるため。					選択理由					
算定方法	世界遺産登録：100%、国内暫定一覧表への記載：75%、暫定一覧表記載候補カテゴリーⅠa：50%					算定方法					
成果と指標の関係	強	指標の種類（ストック/フロー）	ストック	指標の種類（プラスマイナス）	＋	成果と指標の関係		指標の種類（ストック/フロー）		指標の種類（プラスマイナス）	

指標・事業費・人件費の推移

区分	成果指標A 計画	成果指標A 実績	成果指標A 達成率	成果指標B 計画	成果指標B 実績	成果指標B 達成率	事業費（予算） 予算計	事業費（予算） 国費	事業費（予算） その他	事業費（予算） 県費	事業費（決算）	人件費
単位			%			%	千円					
元年度	75	50	66.7%			－	45,764	21,662	1,000	23,102		5,445
2年度	75	50	66.7%			－	56,051	26,738	1,000	28,313	53,252	5,413
3年度	75	50	66.7%			－	63,641	27,823	6,065	29,753	56,557	4,840
4年度 目標値	75					4年度当初予算	64,744	31,407		33,337		
最終目標	100											

2 施　策　の　評　価

県の関与の必要性		説明	
高い			四国遍路の世界遺産登録を進めるためには、産学官民の連携した取組が不可欠であり、4県が率先して取組方針を示し、その推進に係る体制整備や進捗管理、意識啓発等を行う必要がある。
成果指標A		説明	○成果動向：四国遍路世界遺産登録推進協議会の方針をもとに、「資産の保護措置」や「普遍的価値の証明」など大学や民間団体との連携が積極的に行われており、札所・遍路道の史跡指定など着実な成果が得られている。 ○成果向上余地：世界遺産登録には息の長い取組が必要であるが、国の推薦リストである暫定一覧表は着実に減少しており、一層の成果向上が期待できる。
成果動向	横這い		
成果向上余地	大幅な成果向上が可能		
成果指標B		説明	
成果動向			
成果向上余地			

参考：構成事務事業の評価の平均値	成果動向	2.00	順調・向上	成果向上余地	3.00	大幅な成果向上が可能	

今後予測される環境変化	県全体の人口減少や、南予地域をはじめとする過疎化が進む中、四国遍路など地域の住民にとって大きな誇りとなる資源を活用し、国内外へアピールできる魅力を伸ばし、交流人口の拡大や地域の活性化につなげる必要がある。

3 施策の今後の方向性

四国遍路の世界遺産登録は、人類共通の遺産として将来にわたり保存・継承するだけではなく、地域の活性化や私たちの生活や文化の質の向上につながるものであり、今後も各主体が連携して取組を推進する必要がある。

４－１　事務事業管理シート（評価対象事業）

予算施策名	ｓｂ08	文化交流の推進と地域資源の活用

1	四国へんろ世界文化遺産推進事業費			指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標
指標種類1	指標名称1		単位	計画	75	75	75	75	100
成果	＋	ｽﾄｯｸ	世界遺産登録	実績	50	50	50		
			%	達成率	66.67%	66.67%	66.67%		
指標種類2	指標名称2		単位	計画	5	5	5	5	―
活動	＋	ｽﾄｯｸ	札所寺院の詳細調査実施数	実績	5	5	5		
			札所数	達成率	100.00%	100.00%	100.00%		
指標種類3	指標名称3		単位	計画					
				実績					
				達成率	–	–	–		

実施期間	始期	終期	事業の概要
	H21	R8	四国の誇るべき貴重な財産である四国八十八箇所の寺院やそれを結ぶ遍路道と、そこに培われてきた遍路文化を将来にわたり保存・継承していくため、関係団体と連携を図りながら、世界文化遺産登録に向けた取組みを行う。

コスト（単位：千円）		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
予算	事業費計	45,764	56,051	63,641	64,744
	国費	21,662	26,738	27,823	31,407
	その他	1,000	1,000	6,065	0
	県費	23,102	28,313	29,753	33,337
決算	事業費計	42,183	53,252	56,557	
	国費	20,003	25,970	24,608	
	その他	1,000	1,000	4,378	
	県費	21,180	26,282	27,571	
人役		0.8	0.8	0.8	
人件費		5,445	5,413	4,840	

評価

成果動向	3成果横ばい	向上余地	3大きく成果向上する

息の長い取組みを必要とし、短期間の著しい進捗は困難であるが、四国遍路世界遺産登録推進協議会の方針を基に、「普遍的価値の証明」での大学や民間団体との積極的な連携のほか、札所・遍路道の史跡指定など着実な成果が得られている。

見直し方向性

方向１	このまま継続
方向２	
方向３	

四国４県58市町村で札所と遍路道の文化財指定に関する取組みを加速化することで合意しており、この方針に沿って実施する。